

報告事項セ

「第42回青少年のインターネット利用環境づくりフォーラム in 鳥取」の開催結果について

「第42回青少年のインターネット利用環境づくりフォーラム in 鳥取」の開催結果について、別紙のとおり報告します。

令和7年10月24日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

「第42回青少年のインターネット利用環境づくりフォーラム in 鳥取」 の開催結果について

令和7年10月24日
社会教育課

スマートフォンなど多様なインターネット接続端末の登場により、様々な場所や端末からインターネットを利用することが可能となるなど、近年、青少年のインターネット利用環境が急激に変化していることから、青少年のインターネット利用環境づくりフォーラムを開催しました。

令和5年10月14日に本フォーラムをとりぎん文化会館で開催しており、鳥取県青少年健全育成条例の改正に合わせて2度目の開催となります。

1 概要

- (1) 日 時：令和7年10月5日（日）午後1時から午後4時20分
- (2) 会 場：鳥取市総合福祉センター さざんか会館
- (3) 主 催：こども家庭庁
- (4) 共 催：警察庁、総務省、法務省、文部科学省、経済産業省、
鳥取県、鳥取県教育委員会、鳥取県警察本部
- (5) 協 力：青少年育成鳥取県民会議、鳥取県PTA協議会、
鳥取県子どものインターネット利用教育啓発推進協議会 等
- (6) 参加者数：45名（オンライン視聴含む）
- (7) 内 容：①県内情勢の説明：鳥取県青少年健全育成条例の改正について
②基調講演：はじめての情報に出会った時の《4つのハテナ》
下村健一氏（白鷗大学特任教授、元TBSアナウンサー）
③討議：こどもと大人で考えよう インターネットとのより良い付き合い方
コーディネーター：足羽智史 県教育委員会事務局社会教育課指導主事
パネリスト：下村健一 白鷗大学特任教授、元TBSアナウンサー
岩田健一 鳥取大学情報戦略機構 准教授
重橋薫 （株）NTTドコモ鳥取支店支店長
山本祐子 鳥取県PTA協議会会長
鳥取西高、米子東高、福生中、湊山中生徒

2 実施内容

(1) 県内情勢の説明

鳥取県青少年健全育成条例の改正の背景や改正概要について鳥取県子ども家庭部家庭支援課から説明を行った。

(2) 基調講演

はじめての情報に出会った時に気を付けなければならないことについて、《4つのハテナ》と題して、結論を即断しない、意見・印象をうのみにしない、一つの見方に偏らない、スポットライトの中だけ見ないで隠れている情報はないか考えることの重要性を下村特任教授から講演いただいた。

基調講演は、討議のパネリストである中高生も参加し、模擬授業という形で実施した。

(3) 討議

「こどもと大人で考えよう インターネットとのよりよい付き合い方」をテーマに、基調講演講師の下村特任教授をはじめ、県内の有識者や関係者、県内の高校生、中学生から発言いただき、フォーラム参加者にも Google フォームを用いたアンケートをリアルタイムで実施し、参加者を巻き込みながら討議を行った。

《討議項目》

- ・こどもの自由時間におけるスマホ利用は、1日2時間までに制限すべき？
- ・高校生の持つスマホに対して、親は制限をかけるべき？
- ・生成AI、こどもたちに積極的に使わせるべき？
- ・こどもたちがインターネットをより良く使うために、大人がすべきこと、こどもがすべきこと



《討議で出た意見》

- ・ 勉強をしなくてはいけないと思っていても、動画など見始めてしまうとついつい長時間みてしまうことがある。制限時間が決まっていることで、自分でもやめるきっかけになるし、親も声をかけやすくなると思うので「こどもの自由時間におけるスマホ利用は、1日2時間までに制限すべき？」に賛成する。(中学生パネリスト)
- ・ 中学生や高校生は、自分で責任をとることができない。しかし、数年もすれば大人になって、自分で責任を取らないといけなくなる。大人になってからは誰も教えてくれないので、中学生や高校生のうちに、スマホの危険性や使い方を学び、社会に出られるようにならないといけない。その準備段階として、制限をかける必要はないのではないか。(高校生パネリスト)
- ・ 制限といってもいろいろな制限の仕方がある。すべてが禁止といった制限をかけるのではなく、親子で話し合ったうえで、その子に合わせた制限が必要なのではないか。(大人パネリスト)
- ・ 生成AIを使うことで、業務効率の向上、新しいアイデアの創出など、さまざまなメリットが受けられる。生成AIの特徴を理解したうえで最強の文房具として扱えるように、中学生や高校生のうちから使い方を学んでほしい。(大人パネリスト)

3 参加者の感想

＜「大変満足した（よく理解できた）」または「満足した（理解できた）」と回答した割合＞
フォーラム全体：90%、県内情勢の説明：96.7%、基調講演：100%、
パネルディスカッション：100%、

- ・ 子どもたちや保護者の皆さんに伝えたい内容ばかりでした。下村先生のご講義やパネリストの皆さんのご意見を現場の先生方にも伝えていきます。ありがとうございました。(教職員・教育関係者)
- ・ 学生の意見が聞けたことが大変よかった。子どもたちが、意外に自制的でしっかりしていると感じた。(保護者)
- ・ 生徒の皆さんの考えやそれを踏まえた大人達の考えを聞くことができて貴重な機会となりました。(会社員)
- ・ 討議がとても参考になった。子どもたちがすごくしっかりしていてびっくりしました。大人も子供も時代の変化に対応できるように対話しながら学び続けることが大切だと感じました。(高校教員)
- ・ 当職の業務内容に、県内小中学校及び高等学校等へ出向いて「情報メディア出前講座」を開催しているが、ネットに関する注意喚起は当たり前となり、子ども達は「あーまたその話ね」と言った表情になる事が多く見られる。基調講演の内容の「見方を変える」「ソ・ウ・カ・ナ」は今後の当職の講演活動においても、大変参考になる内容であった。鳥取県の取組は大変わかりやすく、小さい子どもから大人までしっかりと理解できる内容だと思う。「とりのからあげ」中学生・高校生のパネリストが立派でした。(その他)